

埴生地区 意見交換概要

日時 令和4年5月 23 日(月)19:30～20:30

場所 埴生公民館

出席 47 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	埴生地区は、避難場所がエリアごとに決められているが、埴生地区の真ん中を流れる毘沙門川の水量が増えてきた時、保育所が避難場所だと、向こう側の人々が川を越えられるのか心配である。そういう場所を避けて、両側に分かれて行けるような避難場所の設置を検討いただきたい。	水害等々については、埴生地区だけではなく各地区からご指摘をいただいているので、地域防災計画の中で検討する。
2	昨年、石坂自治会、地区振興会等で「寿永荘跡地整備実行委員会」を作り、運動を進めている。奥の方は県立公園として整備がされているが、下に住む皆さんが休憩したり遊んだりする公園があれば、地域の環境が良くなる。これは、住んで良かった小矢部市に通じると思う。財政的な困難もあるが、皆が利用できる公園化をお願いします。	寿永荘の跡地整備については、これまでも埴生地区から何度もご要望をいただき、議会でもご質問をいただいている。解体後は速やかに公園を整備し、できれば夢のある公園にしていきたいと思っている。
3	資料の中に、「未来へつなぐ」というキーワードがあったが、未来へつなぐ成長予算の中で、「しあわせまちづくり」として一番のポイントと、「第7次総合計画」において、今年の予算の位置付けをお聞きしたい。	伝統文化もそうだが、次世代、子供さん方に引き継いでいけるような形にしていきたい。具体的には、将来世代に負担をかけないような形で、予算を編成したところである。数字は下がったが、負担を残さないことに重点をおき、余力があれば、もう少し踏み込んでいける時期だと思っている。
4	石動駅周辺活性化ということだが、逆に北側では撤退などいろいろなことがある中で、埴生地区は注目されている。石動駅を中心とした市民満足度調査では、非常に低いという中で、市長はどういう思いがあるのか。	南北自由通路ができたことで、自由に行き来ができるようになり、駅南地区に関心を持っていただけになった。利便性も高まってきたので、もっと人口も増えていくと思う。一方、駅北では、残念ながら2つの施設がなくなる。今回、駅北の予算を付けたが、企業誘致に対する材料としての予算ということで、積極的に民間のデベロッパーに働きかけていきたい。
5	「鎌倉殿の13人」で小矢部市が紹介されたり、プレミアムトークをされたりしたおかげで、倶利伽羅に県外からの観光客や観光バス等が来てくれたと聞いた。市で、人数を把握されているのか。このような機会をきっかけに、どのように展開されるのか。	「鎌倉殿の13人」の中で、義仲公は義理人情に篤い武将として取り上げられ、巴御前は一騎当千の女性として取り上げられていた。プレミアムトークでも、県内外の大勢の方に来ていただき、大成功だったと思っている。これを機に、違った切り口で取り組んでいきたい。